豪雨災害復旧・復興の早期実現を求める要望決議

平成30年7月豪雨災害及び令和3年8月12日から19日にかけて、秋雨前線の影響による大雨で、避難情報を発令し、避難所を開設した。最大で84世帯、167名の方が避難された。この期間中に三迫川上流において、今年7月の大雨で護岸の一部破損が確認され、再び仮復旧の手間がかかる悪循環になっている。

「工事業者がいないので仕方がない」で済ませるのではなく、中小の工事業者をかき集めてでも予定どおり災害復旧工事完了を目指すべきである。

広島県は、平成30年9月に策定した「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」が円滑に進捗するよう、国をはじめ関係諸機関に最大限の支援をお願いしている。

豪雨災害による被害について、現在コロナ禍にあることも十分勘案の上、被災地域の一日も早い復旧・復興が実現できるよう、執行部は町長を筆頭に総力を挙げ、全力で災害復旧・復興工事に取り組むよう強く要望する。

以上、決議する。

令和3年12月2日

海 田 町 議 会